

派遣交換留学中の生活等に関する調査

国際センター

記入年月日：2019年6月25日

氏名	[REDACTED]		
所属	外国語学部 ([REDACTED]) 研究科	スペイン語学科・専攻	4年次
派遣先大学	バスク大学		10ヶ月間

以下の項目に入力・選択をしてください。なお、この調査は個人情報（名前等）を削除した上で、これから留学する学生並びに留学を考えている学生に公開させていただきます。

I. 留学先での住居について

1	住居形態は 何でしたか？	<input type="checkbox"/> 学内寮 <input checked="" type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ([REDACTED])
2	住居形態の詳細を教えてください。	<small>例）ルームメートの人数と国籍、部屋数、間取り（2LKD）、広さなど</small> (一人部屋、キッチン、トイレと風呂付。ただし洗濯はコインランドリーで行う。寮内にエレベーターと運動機器のある部屋有り。)
3	入居時手続き	<small>例：Housing Office でデポジットを払い、学生寮の受付で鍵を受け取る</small> (Resa のホームページでデポジットを払い、学生寮の受付で鍵を受け取る。)
4	費用（月額）	[REDACTED] (80000円) (食費 食費含む/月)
5	支払方法	[REDACTED] (例：月ごとに現金で、クレジットカードなど)
6	住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 洗面所 <input type="checkbox"/> トイレ(共同) <input checked="" type="checkbox"/> トイレ(個別) <input type="checkbox"/> シャワー(共同) <input checked="" type="checkbox"/> シャワー(個別) <input checked="" type="checkbox"/> 浴槽 <input checked="" type="checkbox"/> 冷暖房 <input type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input checked="" type="checkbox"/> ジム <input checked="" type="checkbox"/> 洗濯機 <input checked="" type="checkbox"/> 乾燥機 <input type="checkbox"/> その他 ([REDACTED])
7	住居選択方法	<input checked="" type="checkbox"/> 渡航前に申込 <input type="checkbox"/> 留学先大学の斡旋 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者・新聞を通じて <input type="checkbox"/> その他 ([REDACTED])
8	周囲環境	<small>例：近隣のスーパーなどの大きさ、駅・バス停からのアクセス、など</small> (Renfe の駅へ徒歩数分、学生寮近隣に銀行、郵便局、市役所、中心街にあるスーパーと比較して価格の安いスーパー、格安SIMを購入できるキオスク有り。)
9	アクセス	<small>例：大学からの距離・アクセス方法、駅・バス停からの距離・費用</small> (大学から徒歩10分以内)
10	留学中の住居に関して アドバイス	<small>(今後留学をする学生に対して)：</small> ([REDACTED] 長期留学の場合学生寮はやめたほうがいいです。途中で契約変更ができません。)
11	引越された方は引越し先の住居形態を記入してください。	<input type="checkbox"/> 学内寮 <input type="checkbox"/> 学外寮 <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> 民間アパート <input type="checkbox"/> その他 ([REDACTED])
12	詳細を教えてください	<small>例）ルームメートの人数と国籍、部屋数、間取り（2LKD）、広さなど</small> ([REDACTED])

II. 通信環境について（該当の項目を選択、または入力してください。）

1	日本キャリアの携帯電話	持参した
2	現地キャリアの携帯電話	現地でSIMカードを購入
3	現地携帯電話の取得手続きの方法	例：ショッピングモールの電気屋に行きSIMを購入 (学生寮近くのキオスクでLyca MobileのSIMカードを購入。)
4	自宅のインターネット接続環境	無線（大学または寮へのLAN接続）
5	大学内インターネット接続環境	無線（大学または寮へのLAN接続）

III. 留学費用について

諸経費（1ヶ月の平均） ※現地通貨で記入。（ ）内に通貨単位を記入すること。		
1	宿舍費	447 (ユーロ) /月
2	食費	90 (ユーロ) /月
3	交通費	10 (ユーロ) /月
4	通信費	10 (ユーロ) /月
5	娯楽費	80 (ユーロ) /月
6	図書費	290 (ユーロ) /合計
7	学用品（教科書など）	180 (ユーロ) /合計
8	被服費	0 (ユーロ) /合計
9	医療費	0 (ユーロ) /合計
10	雑費・その他	(ユーロ) /合計
上記以外にかかった大きな金額の内訳（留学準備期間含む） ※日本円または現地通貨で記入。		
11	出願料・宿舍デポジット	870 (ユーロ) /合計
12	ビザ申請関連費	0 (円) /合計
13	航空券代 (休暇時旅行費用は除く)	22万 (円) /往復
14	その他	20万 (円) /合計
15	留学全日程に要した総額（概算）	180万 (円) /合計
お金の持って行き方		
16	<input checked="" type="checkbox"/> 現金（渡航時：5万 円） <input checked="" type="checkbox"/> 国際キャッシュカード（銀行名：埼玉りそな） <input type="checkbox"/> 海外送金 <input type="checkbox"/> その他 ()	
17	現地で銀行口座開設	してない
18	手続き方法・利点・欠点	
19	お金に関するアドバイス (今後留学をする学生に対して)	外食と旅行と無駄遣いをしなければ、ほぼ奨学金だけで一か月間生活が可能だと思います。

IV. 保険・医療について

1	海外旅行（留学）保険の種類（例：L2プラン）	C18 (10か月分で113600円)
2	留学中に病気・けが等をし、通院・薬の処方を受けましたか？	いいえ
3	(2で「はい」を選んだ場合のみ記入) 海外旅行（留学）保険の適用を受けましたか？	受けなかった
4	(3で「受けた」を選んだ場合のみ記入) どのような方法で適用を受けましたか？	選択してください。 その他 ()
5	(4で「受けることができなかった」を選んだ場合のみ記入) 適応されなかった理由はなんですか？	
6	日本から持参した方が良かったと思う薬などはありますか？理由はなんですか？	サプリメントです。一人暮らしをしていると摂取する栄養が偏ってしまうので、あると便利だと思いました。

V. 持ち物について

1	日本から持っていったもの 衣類、薬、化粧品、安眠グッズ、使い捨てコンタクトレンズ、その他必要なもの
2	現地で購入したもの シャンプー、リンスなど
3	(自分は持っていかなかったが) 日本から持っていったら便利だと思ったもの 消臭剤、S字フック

VI. 留学先で困ったこと

バス利用時、日本のバスと同じように車内に次の停留所が表示されないため乗り過ぎさないよう常に注意する必要がある。

VII. その他、後続の学生へのアドバイス

頑張ってください。留学前は何かと不安に思うかもしれませんが、案外何とかなるものです。自分から助けを求めれば必ず助けてくれる人がいるはずです。

ご協力ありがとうございました。留学状況のより良い把握のため、留学志望者の参考となる写真（大学・授業の様子、設備、街、宿舎などの写真）を添付して提出してください。

神奈川大学派遣交換留学修了報告書

所 属	外国語学部	学 科	スペイン語学科	4 年次
氏 名				
派遣先大学 (国)	バスク大学 (スペイン)			
所属プログラム・ 学部・研究科	Faculty of Arts	履修言語	スペイン語、英語	
留学期間	2018年8月～2019年5月			
報告書提出日	2019年6月30日			

学修について

1.1. 学期区分

学期	授業期間	試験期間	履修登録するまでの過程
【記入例】 Fall Semester	9月21日 ～1月21日 (14週)	1月24日 ～2月1日	英語力の結果、本科の授業履修が認められたので、教務課でシラバスを貰いオンラインで登録。オリエンテーション期間として最初の1週間は履修登録を加除できる。XX先生に相談し、……
1st semester	9月10日 ～12月21日 (15週)	1月10日 ～1月25日	語学コースを除く科目登録は9月20日から28日の1週間の中に所属する学部の事務室に記入済みの科目登録書、パスポートのコピーとパスポートサイズの顔写真を各1部ずつ持っていった。事務室で科目登録書に間違いはないか最終確認をした後、正式に科目を登録する。
2nd semester	1月28日 ～5月17日 (15週)	5月20日 ～6月27日	前期と同じだが、パスポートのコピーと顔写真は不要。

1.2. 履修科目・内容 (数字は半角で直接入力してください)

学期	履修科目名	合計時間 (内訳)	履修内容・授業での取り組み ※欄は自動で大きくなるので、十分に記入してください。

【記入例】 Fall Semester	International relations IIB	30 時間	講義が月曜日に 90 分、演習が木曜日に 90 分。内容としては講義は……。演習は……。中間試験・期末試験の勉強としては……。レポートは……。 合計時間の計算方法は⑥'【参考資料】授業時間数について】をご参照ください。
		1 (時間/回) × 3(回/週) × 10(週)	
1st semester	Spanish for visiting students:intermediate level	60 時間	毎週月曜日と水曜日に 120 分の演習形式の授業。リーディング、ライティング、リスニング、プレゼンテーションなど満遍なく取り組む。中間試験と期末試験は DELE・B1 レベルのリスニング、リーディング問題が出された。加えて作文も有り。
		2(時間/回) × 2(回/ 週)	
		× 15(週)	
1st semester	Second Language III: English	60 時間	毎週月曜日と木曜日に 120 分の演習形式の授業。B2 レベルのテキストを中心に取り組む。毎回テキストから課題が出されるため事前に解いてから授業に臨まなければならない。しばしばテキスト以外にライティング課題が出される。中間試験、期末試験はテキストで学んだ内容に沿った問題が出る。
		2(時間/回) × 2(回/ 週)	
		× 15(週)	
1st semester	English I	60 時間	毎週火曜日と金曜日に 120 分の演習形式の授業。B1 レベルのテキストを中心に取り組む。同じく毎回テキストから課題が出される。中間試験、期末試験は先の科目と同じくテキストで学んだ内容に沿った問題が出る。
		2(時間/回) × 2(回/ 週)	
		× 15 (週)	
2nd semester	Spanish Course for visiting students: advanced level	60 時間	毎週月曜日と水曜日に 120 分の演習形式の授業。中間試験、期末試験はテキストで学んだ内容に沿った問題が出る。
		2(時間/回) × 2(回/ 週)	
		× 15 (週)	
2nd semester	Basque Course for visiting students: beginners level	60 時間	毎週火曜日と木曜日に 120 分の演習形式の授業。A1 レベルのテキストを中心にリスニング、リーディング、ライティングなど満遍なく取り組む。数回他のキャンパスのバスク語コースの生徒達とビデオ通話する時間があった。中間試験、期末試験はテキストから同じ問題は出ない。
		2(時間/回) × 2 (回/ 週)	
		× 15 (週)	
2nd semester	Medieval History of the Basque Country	60 時間	毎週火曜日と木曜日に 120 分の講義。内容はバスク中世史。レポート課題を全て提出し講義に出席すれば期末試験を受ける必要はない。レポートのテーマはあらかじめ決められたものの中から各自選択する。ただし最後のレポートはペアを組み取り組む必要がある。私
		2(時間/回) × 2(回/ 週)	

		× 15 (週)	の場合は中世バスクにおける女性と労働、サンティアゴデコンポステーラと都市支配について書いた。期末試験は記述式で今まで講義で取り扱った内容に沿ったテキストを読み、質問に答えるといった形。
		時間	
		(時間/回)	
		× (回/週)	
		× (週)	
		時間	
		(時間/回)	
		× (回/週)	
		× (週)	

※表の行が足りない場合は、必要な数だけコピー&ペーストで増やしてください。

1.2 学修する上で心がけていたこと、予習復習の仕方について（授業全般を通して記入）

学修する上で心がけていたことに、与えられた課題はきちんとこなすことと少しでも不安・疑問に感じたことはそのままにせず質問をすることだった。予習復習では毎回授業で学習した部分をその日のうちに見返し、分からなかった単語などはノートにまとめるかスマートフォンの単語帳アプリに打ち込んでいつでも確認できるようにしていた。また録音した講義を何度か家で聞くこともあった。予習ではテキストに目を通す程度だったが、英語では加えて知らない単語を事前に調べたり自分の中で曖昧になっている文法の復習もしたりしていた。歴史の授業では日本から持参したバスクに関する本が学習する上で大いに役に立った。予習よりも復習と課題に多くの時間を費やしていた。予習復習以外では自分の勉強したいものをしていた。

1.3 語学力について（留学前や留学当初に比べての成果、留学中の取り組みを、内容ごとに分けて記入）

語学力は留学前と比べるとかなり伸びたと感じている。留学当初は相手のスペイン語が全然聞き取れなかったが、帰国前の時期になると大体聞き取れるようになった。しかしスペイン語を使う機会が英語よりも圧倒的に多かったため英語の伸びはあまり実感できていない。留学先で仲良くなった友人、バディと SNS で頻繁にやり取りをしていた。自分は外向的な人間ではないためパーティーなど大人数が集まる場は苦手な日本にいた時も滅多に参加することはなかったが、留学中は少しでも参加するようにしていた。語学力は流石に流暢に話せる、間違いなく作文ができるなどといったレベルには達することは約 10 ヶ月の留学では無理だが自分としては全体的にスペイン語に関しては自信を持って留学前よりも向上したと言える。

1.4 研究について（※大学院生のみ記入）

2. 留学の成果を振り返って

2.1. 学修の成果(学修内容と取り組みから得た成果を、内容ごとに分けて記入)

学修の成果としてはやはり語学力の向上と留学先のバスクについて知識を得られたことが大きい。留学して初めてスペイン語で資料を読みレポートを書いたりした時はあまりの難しさに心が折れそうになったが今では良い経験である。日本にいた時はよく課題を後回しにして提出期限が迫ってから取り組み始めることが多かったが留学中はあらかじめ計画を立てて課題に取り組めた。計画通りに完璧にこなすことはなかなかできなかったが提出期限を過ぎてから課題を提出するという事は一切なかった。帰国後も頻度は減ったが留学先でできた友人と時々連絡をとっている。留学を通して大切な友人ができたことは自分にとってスペイン語学習の大きな原動力となった。留学して改めて友人の大切さを思い知らされた。

2.2. 学修面での反省点ならびに留学志望者へ学修面のアドバイス (内容ごとに分けて記入)

学習面での反省点は大きな課題の提出前は授業の予習復習が疎かになってしまった点である。予習復習をせず宿題だけこなしてから授業に出席する日も多々あった。余裕をもって課題に取り組みながら日々の授業の予習復習ができればよかったのだが私には厳しかった。また前期に英語を、後期にスペイン語で大学の講義を受けてしまい、英語もスペイン語も中途半端になってしまった点も残念である。留学志望者へ学習面のアドバイスをすれば、自分が最初どの言語を用いて留学先の大学で学ぶか決めたなら最後まで変えずに貫き通したほうが学習しやすいということである。自分は途中で変えてしまったために後期のスペイン語で学ぶバスク中世史で大変苦勞した。最後に、自分が受けた科目の開講時期を必ずしっかり確認する必要がある。

2.3. 留学生活で得られたもの (学修を除く、留学生活で得た成果)

留学生活ではバスクに関する知識、バスク語、大切な友人、多くの貴重な芸術作品を実際にこの目で見る事ができた経験など、得られたものの多い非常に充実した留学だった。まずスペイン語を学ぶモチベーションが上がり、スペインに留学前よりもさらに興味をもてるようになった。そして自分自身に大きな自信が付き、物事を楽観的に考えられるようになった。加えて全体的に自立した生活を送れるようになった。本を読んで知識を付けるのも良いが、実際に体験することの大切さを知った。バスクに関しては留学していなければ本で読んで感じた印象を持ち続けていたかもしれない。

2.4. 留學生活での反省点ならびに留學志望者へ生活面のアドバイス（内容ごとに項目を分けて記入）

留學生活での反省点としては就寝時間が不規則になりがちだった点。特に課題提出日直前は徹夜が当たり前だった。あとは学生寮に入ってしまった点である。理由は学生寮の一人部屋に入ってしまうと寮に住む人々と交流しにくいのと家賃を1ヶ月分無駄にってしまったため。そもそも学生寮に住む学生が少ないせいか非常に静かで寮内で誰にもすれ違うことのない日もあった。ホームステイかシェアハウスなどの方が良かったかもしれないと今では後悔している。留學志望者へ生活面のアドバイスとしては留學先の大学でバディプログラムがあるならば是非申し込むことを勧めたい。実際私はバディに生活面で多く助けてもらい帰国した今でも連絡を取り合う仲となった。現地に住む人ならば現地に関することは大体知っているはずなので良いバディに巡り合えることができれば必ず力になってくれるだろう。

※作成できましたら国際センターまで、Feelnoteのプロジェクトよりご提出ください。

※ファイル名を、神奈川大学派遣交換留學修了報告書（派遣先大学・氏名）に変えてください。